

ビワ生育情報

千葉県
平成24年12月号

平成24年11月の気象

平成24年11月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は第2及び第4半旬を除く4半旬で平年を下回り、月平均気温は12.7℃で、平年より0.5℃、前年より1.8℃低かった。

降水量は第1及び第4半旬を除く4半旬で平年を上回った。月合計は229mmで平年より81mm(55%)、前年より76mm(50%)多かった。

日照時間は第5及び第6半旬を除く4半旬で平年を上回った。月合計は156時間で平年より12時間(8%)多く、前年より51時間(25%)少なかった。

表1 平成24年11月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	14.2	15.4	17.3	11	24	4	34	24	18
2	14.7	14.6	15.0	61	34	18	34	24	50
3	13.5	14.0	14.5	55	19	33	28	23	52
4	12.5	12.4	15.8	23	25	90	26	23	39
5	10.1	11.7	11.3	32	22	8	20	24	24
6	11.0	11.3	12.9	48	25	0	14	25	24
平均/計	12.7	13.2	14.5	229	148	153	156	144	207

1月の作業(花房の発育は次ページ)

ビワは、厳寒期に入ると枝葉の伸長及び根の活動は停滞するが、開花は引き続き進行し、幼果はわずかながら肥大する。本年は開花の進みが平年より遅いため、寒害を受けにくいと考えられる。1月は春からの本格的な果実肥大に備える追肥時期である。

苗木の植え付け

ビワの苗木の植え付けは、発芽直前で根の活動が緩慢な時期が良く、通常は2月中下旬が適期である。枝や根の伸長が始まってからでは、植え傷みが激しく、発芽が遅れるので、天候や苗の発育をみて時期を逃さないようにする。植え付けの準備は早めしておく。

寒害対策

ビワの幼果は、-3℃以下の低温に遭遇すると、胚(種子)が凍死し、成長が止まり落果してしまう。蕾あるいは開花中の花は寒害を受けにくいですが、受精後は幼果の発育が進むにつれて凍死しやすくなる。本年の開花の進みは平年より遅いため(表3)、寒害を受けにくいと考えられるが、開花が終了する1月上中旬頃からは寒害対策が必要となってくる。

ビワの寒害は大陸性高気圧のもたらす寒波によって引き起こされる。本格的な寒波は1月中旬から3月上旬の間に数回襲来する。この時には、ビワ園を防寒して寒害を回避する必要がある。幼木園では、こも等の被覆資材で樹体を覆う方法、あるいは枝同士を結束する方法が効果的である。成木園では、園内をヒーターで加温して寒害を防止する。火点設置場所の整備と点火及び燃料の準備をしておく。

施 肥

果実の肥大及び春枝の発芽、伸長のための追肥は、春肥または実肥と呼ばれ、1月中に施用する。ビワの根は冬期もわずかながら伸長しており、2月下旬には活発になる。春肥はこの時期に合わせて施すのが一般的で、年間施肥量の30%程度を目安に施用する。土壌pHが低い場合には、苦土石灰などの石灰資材を施用し、pH6.0～6.5に矯正する。時期別の標準施肥量は表2に示した。

表2 ビワの時期別標準施肥量（成分量 kg/10a）

時 期	耕土の浅い園			耕土の深い園		
	窒素	りん酸	加里	窒素	りん酸	加里
9月上旬（基肥）	12	9	9	11	9	7
1月中旬（春肥）	10	9	5	7	8	3
6月上旬（夏肥）	5	4	4	5	3	3
合 計	27	22	18	23	20	13

（千葉県主要農作物等施肥基準より）

管理上の留意事項

1. 土壌pHは6.0～6.5に矯正する。
2. 苦土石灰は、化学肥料施用の2週間前に施用し、その後耕うんする。
3. 施肥後は軽く耕うんする。ただし、夏肥施用後は、その必要はない。
4. 有機物は積極的に投入する。有機物の深層施用には必ず完熟堆肥を用いる。

樹及び花房の発育

ビワの開花期は表3に示した。

暖地園芸研究所の開花始期は、「楠」が11月23日で、平年より14日、前年より17日遅かった。12月1日現在で「大房」は開花始期に至っていない。「田中」は11月23日で、平年より10日、前年より12日遅かった。12月1日現在、3品種共に開花盛期に至っていない。

花房の出蕾は3品種共に平年より遅かったため、開花の進みは3品種共に平年より遅れている。

樹の生育は良好である。

表3 ビワの開花期（暖地園芸研究所）

品 種	開花始期(月.日)			開花盛期(月.日)			開花終期(月.日)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	11.23	11.9	11.6	—	11.29	11.16	—	12.31	11.28
大房	—	11.25	11.19	—	12.22	12.7	—	2.1	1.1
田中	11.23	11.13	11.11	—	12.8	11.21	—	1.28	12.4

平年：1982年～2011年の30年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】
※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>